

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査の大磯町結果の分析について

大磯町教育委員会

## 1 はじめに

大磯町では、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立て、継続的な検証改善サイクルの確立を目的として、文部科学省「令和5年度全国学力・学習状況調査」を令和5年4月18日（火）に実施しました。

本調査は、小学校第6学年及び中学校第3学年の全児童生徒を対象としたもので、大磯町は小学生248名、中学生245名が参加しました。（※児童自立支援施設おおいそ学園内にある大磯町立国府小・中学校生沢分校に在籍する児童・生徒も含む。）

令和5年7月31日（月）に文部科学省からの調査結果公表を受け、令和5年度大磯町「全国学力・学習状況調査」結果分析・活用検討委員会を組織し、大磯町における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析してまいりました。このたび、調査結果の報告がまとまりましたのでお知らせいたします。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。このことに留意して、町として教育施策・教育活動の改善に努めてまいります。保護者・地域の皆様には、本調査の目的及び結果公表の趣旨をご理解いただくとともに、大磯町の児童生徒の健やかな成長のために、公表資料を有効にご活用いただきますようお願いいたします。

## 2 調査の内容

- ・ 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語※中学校のみ）
- ・ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒に対する調査、学校に対する調査）

## 3 調査の結果について

### （1）教科別調査結果

[小学校]

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語	8.8問/14問	63%	9.0問	3.2
算数	9.3問/16問	58%	9.0問	3.8

[中学校]

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語	10.8問/15問	72%	11.0問	3.2
数学	7.9問/15問	53%	8.0問	3.9
英語	9.4問/17問	55%	9.0問	4.3
英語「話すこと」	0.9問/5問	18%	1.0問	1.1

※平均正答率：児童生徒の正答数の平均。（正答数の平均/総問題数）

平均正答率：児童生徒の平均正答数を百分率で表示。

中央値：集団のデータを大きさの順に並べたときに真ん中に位置する値。

標準偏差：集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。

標準偏差が0とは、ばらつきがない（データの値が全て同じ）ことを意味する。

## （2）教科に関する調査の結果から

### 【小学校国語】

今回出題された学習内容について、大磯町では、全国及び県の平均正答率と比較して全体的にやや下回る結果となりました。学習指導要領の領域等でみると、「話すこと・聞くこと」「読むこと」について課題があります。

### 主な特長と課題

特長（習得の状況が良好であると判断できるもの）	課題（指導の改善・充実が求められるもの）
<ul style="list-style-type: none"><li>・原因と結果など情報と情報との関係について理解する。</li><li>・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・文書を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。</li><li>・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える。</li><li>・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。</li></ul>

### 授業の充実に向けて取り組んでいくこと

<ul style="list-style-type: none"><li>・相手が自分に伝えたいことや、自分が求めている情報などを明確にして聞く場面の設定をする。</li><li>・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる指導を取り入れていく。</li><li>・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる指導を充実させる。</li><li>・文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら考えたり理解したりしたことを、既存の知識などと結び付けて自分の考えをもたせる指導を取り入れる。</li></ul>
---

### 【小学校算数】

今回出題された学習内容について、大磯町では、全国及び県の平均正答率と比較して全体的にやや下回る結果となりました。

学習指導要領の領域等でみると、「数と計算」「図形」「データの活用」について課題があります。

## 主な特長と課題

特長（習得の状況が良好であると判断できるもの）	課題（指導の改善・充実が求められるもの）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伴って変わる2つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができる。</li> <li>・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる。</li> <li>・二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができる。</li> </ul>

## 授業の充実に向けて取り組んでいくこと

<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の習慣化をしていくこと、また算数の学習の場面で基礎基本を定着できるような教材提示の工夫をし、繰り返し学習できる状況をつくる。</li> <li>・図形を構成する要素に着目し、図形の意味や性質を基に、一つの図形に対して作図の仕方を多様に考えられるようにする。</li> <li>・結果から分かることを考え、記述し、グループで話し合う時間をとる。結果から分かる考察場面を増やししながら、データ分析の力を高めていく。</li> </ul>
--

### 【中学校国語】

今回出題された学習内容について、大磯町では、全国及び県の平均正答率と比較して大きな差は見られませんでした。大磯町の学校は、全国や県と比較して、生徒に対して身に付けさせるべき学力をきちんと指導していると言えます。

一方で、学習指導要領の領域等でみると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「読むこと」の領域の一部の問題については、正答率が低い結果となりました。

## 主な特長と課題

特長（習得の状況が良好であると判断できるもの）	課題（指導の改善・充実が求められるもの）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができる。</li> <li>・読み手の立場に立って、叙述の使い方などを確かめて、文章を整えることができる</li> <li>・具体と抽象など情報と情報の関係について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文脈に即して漢字を正しく書く。</li> <li>・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。</li> </ul>

## 授業の充実に向けて取り組んでいくこと

<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の中ばかりではなく、「A話すこと・聞くこと」の学習の中や、他教科等の学習や日常の会話の中でも漢字の書きについて意識するような場面を大切にし、指導する。</li> <li>・1人1台端末等を活用して文字を入力する際にも、漢字がもつ意味に留意して、適切に選択するような指導を取り入れる。</li> <li>・文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする指導を充実させる。</li> </ul>
--

- ・教科書に掲載されている現代語訳だけでなく、中学生などが楽しめるような現代語訳などを取り上げ、文章の構成や展開、表現の効果などに着目して工夫されているところを考える学習活動などを設定する。

### 【中学校数学】

今回出題された学習内容について、大磯町では、全国及び県の平均正答率と比較して大きな差は見られませんでした。大磯町の学校は、全国や県と比較して、生徒に対して身に付けさせるべき学力をきちんと指導していると言えます。

一方で、学習指導要領の領域等で見ると、全国的な傾向と同様に、「図形」の領域において解の求め方について説明をしたり、記述したりする力には課題があります。

#### 主な特長と課題

特長（習得の状況が良好であると判断できるもの）	課題（指導の改善・充実が求められるもの）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・累積度数の意味を理解している。</li> <li>・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。</li> <li>・事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間における平面が同一直線状に無い3点で決定されることを理解している。</li> <li>・四分位範囲の意味を理解している。</li> <li>・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明できる。</li> </ul>

#### 授業の充実に向けて取り組んでいくこと

- ・図形の性質を考察する場面では、観察や操作、実験などの活動を通して、図形の性質を見いだすことや、統合的・発展的に考察することができるようにする。
- ・推測した事象について考察する場面で、事柄の理解を深めたり反例を見つけたりするために、仮定に当てはまる図をかいたり、具体的な数をあげたりする場面を設定する。

### 【中学校英語】※「話すこと」を含む。

今回出題された学習内容について、大磯町では、全国及び県の平均正答率と比較して全体的にやや上回る結果となりました。大磯町の学校は、全国や県と比較しても、生徒に対して身に付けさせるべき資質・能力について指導していると言えます。

一方で、学習指導要領の領域等でみると、「話すこと（発表）」の領域については、他領域と比較して正答率が低い結果のものもありました。

#### 主な特長と課題

特長（習得の状況が良好であると判断できるもの）	課題（指導の改善・充実が求められるもの）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を正確に聞き取ることができる。</li> <li>・日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。</li> <li>・日常的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を述べ合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができる。</li> </ul>

授業の充実に向けて取り組んでいくこと

・聞いたことについてなぜそのように考えたのか、感じたのか、簡単な理由や根拠、例示などを伝えたり質問したりする活動を取り入れる。

(3) 児童生徒質問紙調査の結果から

〔生活習慣・家庭学習に関する調査結果〕(抜粋)

質問内容	小学校 (%)			中学校 (%)		
	大磯町	神奈川県	全国	大磯町	神奈川県	全国
朝食を毎日食べている。	93.5	93.9	93.9	94.6	90.2	91.2
毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	84.0	79.6	81.0	75.3	73.6	78.0
毎日、同じくらいの時刻に起きている。	86.3	89.3	90.5	89.3	88.7	91.3
自分には、よいところがあると思う。	83.6	83.5	83.5	82.3	79.3	80.0
将来の夢や目標を持っている。	77.2	79.6	81.5	65.0	64.8	66.3
人が困っているときは、進んで助けている。	90.8	91.3	91.6	87.6	87.7	88.1
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	94.8	96.7	96.9	91.8	94.9	95.5
困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。	62.2	66.3	68.5	68.3	65.6	66.4
人の役に立つ人間になりたいと思う。	95.6	95.7	95.9	97.5	94.3	94.6
学校に行くのは楽しいと思う。	83.5	85.3	85.3	85.3	82.3	81.8
今住んでいる地域の行事に参加している。	61.1	53.3	57.8	45.6	32.3	38.0
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	71.1	76.5	76.8	70.0	60.8	63.9

※数値には、「どちらかといえばしている、どちらかと言えば当てはまる」の回答を含む。

〔学びに向かう力に関する調査結果〕(抜粋)

質問内容	小学校 (%)			中学校 (%)		
	大磯町	神奈川県	全国	大磯町	神奈川県	全国
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。	71.9	76.8	76.5	76.5	78.0	77.6
家で自分で計画を立てて勉強をしている。	62.6	69.2	70.7	60.5	55.3	55.0
5年生までに(中学1、2年生のときに)受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	70.7	80.0	78.8	88.5	80.4	79.2
学級の友達/生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	80.0	82.1	81.8	83.9	78.0	79.7
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習に繋げることができている。	67.5	76.5	77.4	74.5	69.7	69.2
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいる。	71.0	76.0	74.8	82.3	75.0	72.6

質問内容	小学校 (%)			中学校 (%)		
	大磯町	神奈川県	全国	大磯町	神奈川県	全国
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	81.9	82.2	83.6	87.2	84.3	86.3
5年生までに（中1、2年生で）受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 器機を週3日以上～ほぼ毎日使用した。	82.3	68.5	62.4	97.9	62.5	61.1
学習の中で PC・タブレットなどの ICT 器機を使うのは勉強の役に立つと思う。	95.2	95.3	95.1	98.0	94.3	93.3

※数値には、「どちらかといえばしている、どちらかと言えば当てはまる」の回答を含む。

◎児童生徒質問紙の質問への回答状況と各教科の調査結果を比較すると、次のような児童生徒に、全ての教科で平均正答率が高い傾向がみられます。（必ずしも因果関係を示したものではありません。）

#### 【小学校】

- 朝食を毎日食べている。
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている。
- 読書が好き。
- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。

#### 【中学校】

- 朝食を毎日食べている。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- 読書が好き。
- 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ。
- 行書の基礎的な書き方（「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など）を理解して書いている。

## 4 大磯町教育委員会から

町教育委員会では、本調査の分析結果を各学校に提供しました。学校では、町全体の結果をもとに、各校の詳細な結果の分析と考察を進め、成果と課題を明確にしました。今後の教育活動において、成果についてはさらなる充実と、課題については全校挙げての解決に取り組んでまいります。

今回の調査結果から、町は全国・県と同程度の学力を児童・生徒へ概ね指導できていることが明らかとなりました。その一方で、教科の領域によっては課題が見られる内容もありました。これについては、全ての教員が真摯に受け止め、改善に向けて取り組んでまいりたいと思います。

町教育委員会では、平成29年度から「大磯学びづくり研究推進事業」を拡充し、町内の全小・中学校が研究推進校として、教員の資質向上と共に日常の授業の改善・充実に努めています。また、「日常授業の改善・充実のための小・中相互訪問事業」とし、校種の異なる教員が校区の学校を訪問し、授業づくりについて考える機会も整えています。

基本的な生活習慣については多くの児童・生徒が規則正しい生活を送っている様子が見られます。子どもたち一人ひとりが自分のよさや将来に向けて夢や目標が持てるよう、今後も学校と家庭との連携を図り、子どもたちを育てていきます。

ICT機器の活用については、1人1台タブレット端末の活用が定着し、昨年度に引き続き全国平均を大きく上回る結果が出ています。ICT機器を1つの手段とし、児童生徒の資質・能力の育成に効果的な「活用方法・場面」をさらに充実させていくことが大切だと考えます。ICT機器の活用を図る中で、互いに認め合い・励まし合い・支え合える学習集団づくりを促進していくことで、自分の意見や表現したいものに自信をもつことができるよう、授業改善を進めていきます。

「地域行事への参加」「地域や社会のために何かしてみたい」という質問への回答は国及び神奈川県と比較しても高い回答率となっています。学校運営協議会制度を中心とした学校・家庭・地域のつながりをつくり、地域とともにある学校を目指していきます。

今後も未来を生きる大磯町の子どもたちのために必要な力を育成していきたいと思います。教育委員会としても、全ての学校・教職員に対して必要な研修等の機会を設けていくとともに、必要な支援を行ってまいります。今後も学校教育へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。